

「PFAS(ピーファス)」の規制についてお知らせします

PFASとは

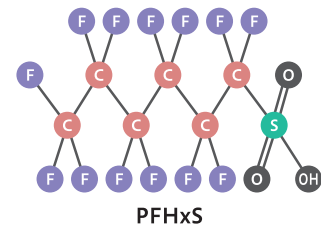
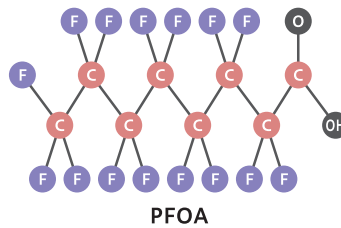
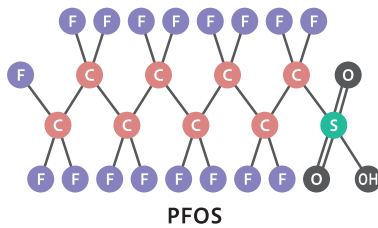
有機フッ素化合物の総称であり、4700種類以上あると言われています。水や油をはじき熱に強いという特性があることから、フライパンのコーティング、防水服、食品の包み紙などの日用品から、航空機の火災などで使われる泡消火剤や半導体、自動車の部品にまで幅広く利用されてきました。しかし、自然界で分解しにくく水や土壌等の環境中に残留することがわかり、人への毒性も指摘されていることから、さまざまな規制が始まっています。特に近年は国内外で飲料水の汚染が注目され、公衆衛生上懸念すべき問題と捉えられています。



国際規制について

国際的には、残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約(POPs条約)において規制が行われています。現在、PFASのうち古くから使われてきた「PFOS(ペルフルオロオクタンスルホン酸)」、「PFOA(ペルフルオロオクタン酸)」、「PFHxS(ペルフルオロヘキサンスルホン酸)」の3種類については、国際条約で製造・使用・輸入が禁止されています。

化学構造式

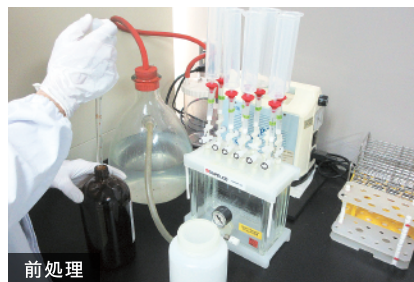
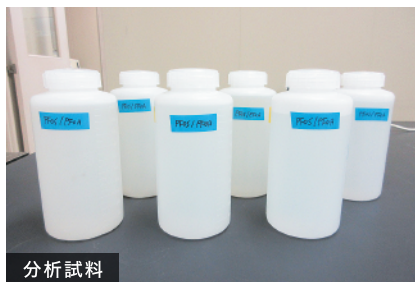


国内規制について

日本では、地下水や川など環境中の水と水道水は、PFOSとPFOAの水質規制がされています。「PFOSとPFOAの合計で1リットルあたり50ナノグラム」が法的な拘束力のない暫定的な目標です。

【PFASに関する日本の水質規制】

分類	関係規制	PFOS・PFOA(合算値):50ng/L以下(目標値)	PFHxS:規制基準ナシ
環境水 (地下水・河川等)	水質汚濁防止法	人の健康の保護に係る要監視項目に追加 (2020年)	要調査項目に追加 (2021年)
水道水	水道水質基準	水質管理目標設定項目に追加(2020年)	要検討項目に追加(2021年)



PFOS・PFOAの水質分析について 当機構の環境科学センターにて対応しております。まずは下記問合せ先までお電話ください。

(公財)ふくおか公衆衛生推進機構 環境科学センター 〒839-0809 福岡県久留米市東合川6-4-23
TEL 0942-44-5000 FAX 0942-44-5516 e-メール info-ka@fphpo.or.jp ホームページ <https://www.fphpo.or.jp>